

# 福間南地域郷づくり計画

---



2019年3月策定

福間南地域郷づくり推進協議会

# 目 次

<b>1. 郷づくり計画策定の目的等</b> .....	1
(1) 郷づくり計画策定の目的と位置づけ .....	1
(2) 計画期間 .....	1
<b>2. 地域の現況と課題</b> .....	2
(1) 人口などの現状 .....	2
(2) 地域づくり計画の検証 .....	5
(3) 市民アンケート調査（意見交換会）の結果 .....	10
(4) 今後の郷づくりの課題 .....	11
<b>3. 将来像</b> .....	12
<b>4. 活動分野・基本方針</b> .....	13
<b>5. 取り組む主な活動</b> .....	14
<b>参考</b> .....	16
(1) 検討の経緯 .....	16
(2) 検討体制 .....	17
(3) 地域住民アンケート又は意見交換会等の実施概要 .....	17

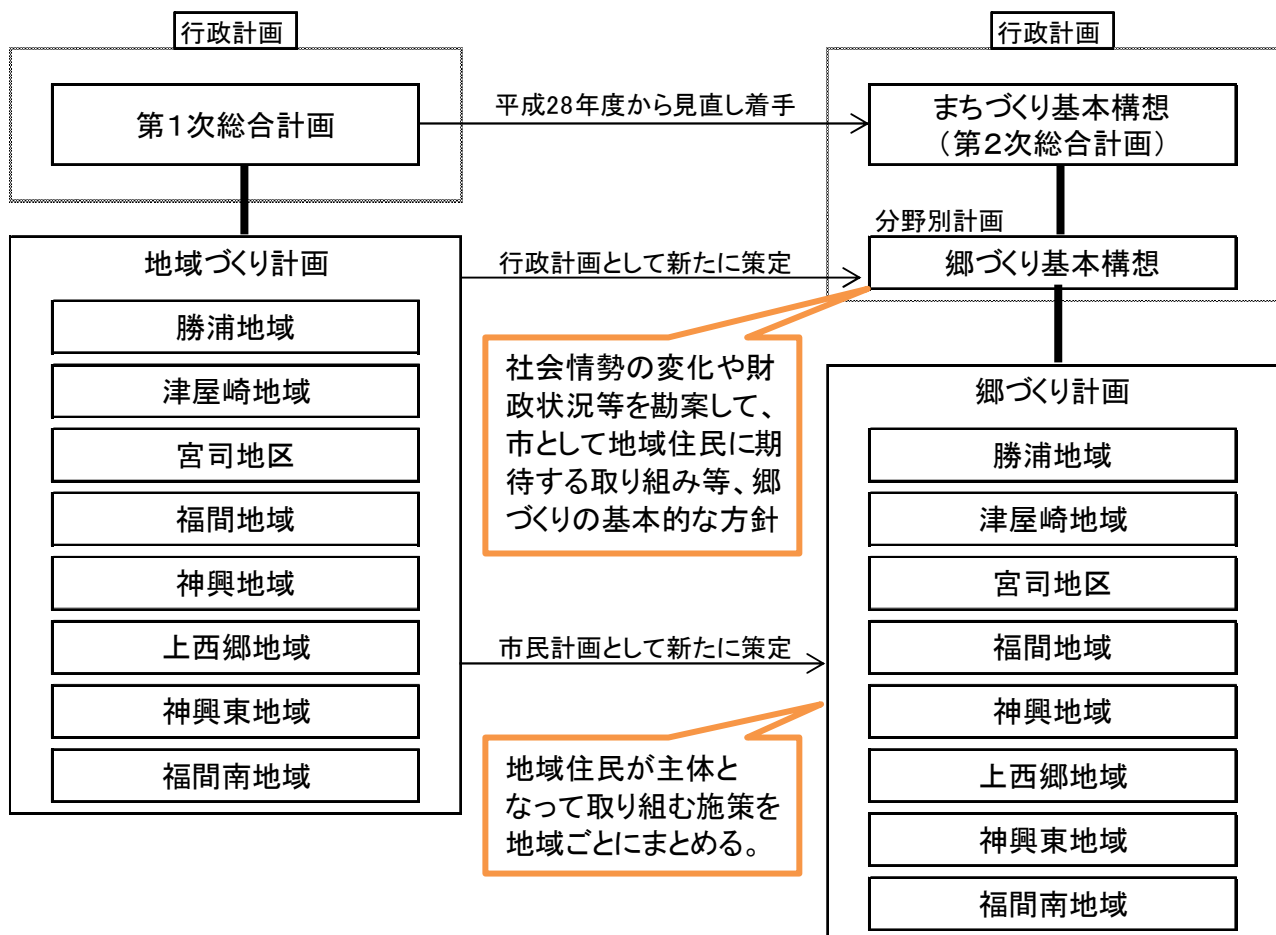
# 1. 郷づくり計画策定の目的等

## (1) 郷づくり計画策定の目的と位置づけ

第1次福津市総合計画（計画期間：平成19年度～28年度）の策定に合わせて、平成17～18年度に「市民会議」を主体にして概ね小学校区単位の8地域（以下、「郷づくり地域」という。）ごとに地域づくり計画を策定し、郷づくり推進事業に取り組んできました。

平成19年度から約10年が経過したことから、郷づくりのあり方について見直しを行う時期を迎え、市は、平成30年3月に郷づくり地域の役割や支援方針等を体系的にまとめ、今後の郷づくりの指針となる「郷づくり基本構想」を策定しました。

そこで、郷づくり基本構想に基づき、これまでの「地域づくり」のうち地域住民が主体となって取り組む活動を「郷づくり」と再定義し、地域住民が主体となって策定する「郷づくり」の行動計画として本計画を策定します。



## (2) 計画期間

計画期間は、「福津市まちづくり基本構想（策定中）」の目標年である2030年までとし、福間南地域を取り巻く社会情勢や地域課題の大きな変化に合わせて計画を変更できるものとします。

## 2. 地域の現況と課題

### (1) 人口などの現状

#### ① 人口・世帯数について

平成 30 年 3 月末現在の福間南地域の人口は 14,606 人、世帯数は 5,833 世帯で、福津市全体に対して人口は 23.0%、世帯数は 21.9%を占めています。

平成 19 年 3 月末と比べると、人口は 1.65 倍、世帯数は 1.78 倍となっている。

日蒔野地区を除いた自治会別にみると、平成 19 年 3 月末の人口は **8,823 人**で四角区 26.4%増、両谷 4.7%減、原町 1 区 7.3%増、原町 2 区 6.1%減、原町 3 区 2.5%増、有弥の里 1 区 10.7%減、有弥の里 2 区 1.4%減、光陽台 1 区 13.0%減、光陽台 2 区 7.7%減、光陽台 3 区 12.7%減、光陽台南区 8.0%減となっている。

平成 19 年 3 月末の**世帯数は 3,275**で四角区 43.0%増、両谷区 3.5%増、原町 1 区 18.1%増、原町 2 区 5.2%増、原町 3 区 16.9%増、有弥の里 1 区 11.5%増、有弥の里 2 区 14.2%増、光陽台 1 区 4.5%増、光陽台 2 区 5.0%増、光陽台 3 区 3.5%増、光陽台南区 6.3%増となっている。

また、平成 30 年 3 月末の日蒔野地区の人口は 5,750 人で本地域の 39.4%、世帯数は 2,091 で 35.8%を占めている。

#### ② 高齢者について

平成 30 年 3 月末の 65 歳以上の人口は、3,204 人で、本地域の人口の 21.9%を占めている。

また、この 10 年間では日蒔野地区を含めると、65 歳以上の人口は 1.72 倍に増えている。

日蒔野地区を除くと、1,858 人から 2,888 人と 1.55 倍に増えている。

#### ③ 子どもについて

平成 30 年 3 月末の 6 歳未満の子どもの数 1,537 人は、本地域の人口の 36.0%を占めている。

日蒔野地区を除くと、この 10 年間では 414 人から 457 人の僅か 43 人しか増えていない。6 歳未満の子ども 1,080 人が日蒔野地区に住んでいることになり、本地域の 70.4%を占めている。

福間南小学校児童数の推移（各年度 5 月 1 日現在）

(人数)

H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
538	537	529	535	538	584	640	752	851	994	1127	1269

#### ④ その他の動向について

- ・平成20年3月に第1回「福間南小校区郷づくり春まつり」を開催。平成25年11月23日に「南しょっとフェスタ」と名称を変えて、新しい郷づくりイベントを開催。
- ・平成20年4月から「青パト」を使った定期的なパトロールを実施。この「青パト」を「パト吉」という愛称を南小児童の募集により決定。
- ・平成24年4月 イオンモールオープン
- ・平成26年10月11日「福間南郷づくり交流センター」愛称「南しょっとセンター」が開所。
- ・平成26年各自治会から子ども見守り隊名簿提出を受け、新たに見守り隊名簿の作成・管理。
- ・平成26年11月30日に各自治会対抗「福間南地域グラウンドゴルフ」大会を開催。
- ・平成27年春から「南しょっとセンター」で南小の5,6年生を対象に「寺子屋」を開設。
- ・平成28年3月5日に第1回ウォーキング大会を開催。
- ・平成28年2月20日に初めて役員研修会を実施。新原・奴山古墳の見学。
- ・平成28年度から「青パト」乗務者の講習会を実施。
- ・平成29年度から年2回、見守り隊員の研修会及び交流会を実施。
- ・平成29年9月から第1回「歌声喫茶」を開催。原則、月の第2木曜日に開催。
- ・平成19年5月から日蒔野の開発が始まり、平成24年12月に日蒔野1区、26年9月に日蒔野3区、27年4月に日蒔野6区、27年5月に日蒔野4区、28年4月に日蒔野5区、29年1月に日蒔野2区が自治会を設立。
- ・平成30年4月から花見3・4区は福間地域郷づくり推進協議会に編入。

(平成 19 年 3 月末現在)

行政区	合計人数	男	女	世帯数	6 歳未満	65 歳以上	高齢化率
地域合計	8,823	4,135	4,688	3,275	414	1,858	21.1%
四角区	1,034	494	540	390	87	145	14.0%
両谷区	1,009	471	538	374	74	173	17.1%
原町 1 区	1,692	792	900	641	100	377	22.3%
原町 2 区	752	340	412	286	32	266	35.4%
原町 3 区	1,091	501	590	439	24	365	33.5%
有弥の里 1 区	599	289	310	200	13	65	10.9%
有弥の里 2 区	424	212	212	141	23	37	8.7%
光陽台 1 区	772	350	422	286	12	164	21.2%
光陽台 2 区	909	425	484	341	16	195	21.5%
光陽台 3 区	315	146	169	114	7	59	18.7%
光陽台南区	226	115	111	63	26	12	5.3%
福津市全体	55,996	26,229	29,767	21,026	2,619	12,557	22.4%

(平成 30 年 3 月末現在)

行政区	合計人数	男	女	世帯数	6 歳未満	65 歳以上	高齢化率
地域合計	14,606	6,885	7,721	5,833	1,537	3,204	21.9%
四角区	1,307	618	689	558	97	247	18.9%
両谷区	962	411	551	387	60	263	27.3%
原町 1 区	1,816	854	962	757	123	515	28.4%
原町 2 区	706	333	373	301	28	253	35.8%
原町 3 区	1,118	524	594	513	55	416	37.2%
有弥の里 1 区	535	255	280	223	18	181	33.8%
有弥の里 2 区	418	200	218	161	16	120	28.7%
光陽台 1 区	672	307	365	299	18	340	50.6%
光陽台 2 区	839	398	441	358	27	388	46.2%
光陽台 3 区	275	125	150	118	11	137	49.8%
光陽台南区	208	102	106	67	4	28	13.5%
日蒔野 1 区	1,234	572	662	467	199	77	6.2%
日蒔野 2 区	1,493	727	766	597	279	62	4.2%
日蒔野 3 区	908	437	471	252	173	14	1.5%
日蒔野 4 区	569	276	293	211	96	53	9.3%
日蒔野 5 区	827	399	428	317	184	70	8.5%
日蒔野 6 区	719	347	372	247	149	40	5.6%
福津市全体	63,545	29,876	33,669	26,608	4,264	17,709	27.9%

## (2)地域づくり計画の検証

### ①地域の事業年表

月	事業	通年事業
4月	総会(協議会)	(協議会主催)
5月	老人ホーム・介護施設訪問研修会(健康・福祉部会)	・歌声喫茶 毎月1回 ・見守り隊 毎日朝夕
6月	青パト講習会(防犯・防災部会) 見守り隊研修会・懇談会①(防犯・防災部会)	・グラウンドゴルフ月例会とミニ大会 月1回 ・役員会 毎月1回 ・運営連絡会 毎月1回
7月	小地域福祉交流会 2回開催(健康・福祉部会) 親子料理教室(子育て)	(健康・福祉部会) ・グラウンドゴルフ月例会とミニ大会 月1回 (主管)
8月	青パト乗務者研修会(防犯・防災部会)	・ニュースポーツ教室の開催 ・部会 毎月1回
9月	認知症サポーター養成講座(健康・福祉部会) ふれあいコンサート&落語(協議会)	(防犯・防災部会) ・パト吉による見守り活動 下校時・夜 毎月水金
10月	南しょっとフェスタ(協議会) ・骨密度・血管年齢測定(健康・福祉部会) ・非常食試食、避難グッズ展示(防犯・防災部会)	・防犯、防災の啓発幟の設置 ・防犯、防災ポスターの作成 ・部会 毎月1回 (子育て・青少年育成部会)
11月	全市一斉防災訓練・熊本震災パネル展示(協議会) 郷育カレッジ講座「福津散歩」開講(協議会) 自治会対抗グラウンドゴルフ大会(協議会)	・子育てサロン 4か所で月各1回 ・寺子屋 毎週火曜日・夏休み ・絵本の読み聞かせ 朝と昼休み 年間35回
12月	環境フォーラム参加(環境・景観部会)	・あいさつ運動 随時 ・部会 毎月1回
1月		(環境・景観部会)
2月	見守り隊研修会・懇談会②(防犯・防災部会) 役員研修(協議会)	・路上違反広告物除去 月1回 ・花植え
3月	ウォーキング大会(協議会)	・竹尾緑地公園清掃活動 月1回 ・部会 毎月1回 (広報委員会) ・広報誌「南しょっと」の発行 年間8回 全戸配布・回覧 ・委員会 月2回

## ②分野ごとの状況

### 【健康・福祉分野の状況】 当初計画を破棄し、変更して取り組む

項目	内容
分野名A	健康・福祉分野（旧名 地域福祉分野）
将来像	高齢者も楽しく、不安なく暮らせる環境

基本方針A-1	ふれ合いの場をつくり、交流や懇親で、閉じこもりやひきこもり防止を図る
取り組む活動	・公民館や集会所・空き家等を活用しサロン等を開設する
取り組み実績や問題点等	場所の設定・会場使用料の調査・経費や資金の捻出を図る。 利用者・スタッフの募集選出を行う 地域の役員の協力が不可欠
基本方針A-2	みんなで支え合う環境づくり
取り組む活動	買い物支援活動の展開 利用者・ボランティアドライバー・付添い者の募集
取り組み実績や問題点等	自動車・資金の調達 保険の設定
基本方針A-3	健康・福祉についての知識及び保険の設定
取り組む活動	介護や認知症についての学習・研修会の開催及び参加 講演会の開催
取り組み実績や問題点等	施設の見学 介護用品等の工夫
基本方針A-4	歳を重ねても気軽に楽しむことができるスポーツや文化活動ができる環境づくり
取り組む活動	グラウンドゴルフの定期開催
取り組み実績や問題点等	グラウンドゴルフ月一回開催実施(年4回ミニ大会の実施) 自治会対抗年に一回実施
基本方針A-5	地域支え合いマップの作成(見守り活動)
取り組む活動	自治会・福祉会・民生児童委員・隣組を基にマップの作成を行う 自治会をいくつかのブロックに分け、常日頃見守りができる体制と組織づくり
取り組み実績や問題点等	支えられる人、支える人の抽出 個人情報取り扱いに配慮を

## ③地域づくり計画の成果

- サロンや趣味の同好者の集いで、年をとっても多くの友達作りができた
- 支え合いで、災害時の避難や屋内での不慮の事故の速やかな対応に役立つ



### [子育て・青少年分野の状況]

項目	内容
分野名B★	子育て・青少年育成分野 (旧名 子育て支援分野)
将来像	地域は家族

基本方針B-1	子どもを産み育てたいと思える地域づくり
取り組む活動	・南小校区で子育てサポート体制づくり、場所づくり
取り組み実績や問題点等	・子育てサロン ・絵本の読み聞かせ
基本方針B-2	“人間力と社会性”をもつ子どもを育てる地域づくり
取り組む活動	・小学校を核にして、時間を問わず場所を問わず子育てしやすい安心な地域にする ・集団生活を通じた子ども社会づくり ・大人が子育て支援に関わるきっかけづくり
取り組み実績や問題点等	・寺子屋 ・子ども郷づくり(親子料理教室・中学校の行事への参加) ・南小饅頭のブランド化
追加した方針	
取り組む活動	
取り組み実績や問題点等	
追加した方針	
取り組む活動	
取り組み実績や問題点等	

### ③地域づくり計画の成果(子育て部会としての問題点)

- 自治会から部会に選出されている方が、1年で辞められることで、郷づくりが活性化されているか分からない。
- 部会の活動や役員会の事が自治会で伝わっているか疑問

## 【防犯・防災分野の状況】

項目	内容
分野名C	防犯・防災分野 (旧名 安全安心分野)
将来像	思いやる心、支え合う心を育み、安心して暮らせるまち

基本方針C-1	正しい心を持ち、安心な地域づくり
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を集める</li> <li>・行政単位でパトロールの仕組みづくり</li> <li>・こどもの通学時の安全を地域でつくる</li> <li>・犯罪を呼び込まない美しいまちづくり</li> </ul>
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども見守り隊による26か所での見守り活動</li> <li>・青パトによる週3回・1日2回のパトロール活動</li> <li>・活動乗務者の減少 ・高齢化による人手不足 ・若い人の参加不足</li> </ul>
基本方針C-2	防災の意識づくり
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に関する勉強会・防災訓練を実施する</li> <li>・防災マップをつくる(行政区単位として)</li> </ul>
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災意識の希薄⇒この地域(自分の所)は災害は起こらないと思っている。</li> <li>・地域でのコミュニケーションづくり(勉強会等による) ・人手不足</li> </ul>
基本方針C-3	みんなで学んで、安全・安心な地域づくり
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材活用により、地域の安全に対する意識啓発を行う</li> <li>・交通安全の意識啓発を行う</li> </ul>
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査不足により活用ができていない</li> <li>・人手不足</li> </ul>
追加した方針	
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識の向上を図る</li> <li>・知識を持った人の活用(調査)</li> </ul>
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全てにおいて人手不足、高齢化(若者の不参加)、ボランティア意識の希</li> </ul>

### ③地域づくり計画の成果

- 青パトによるパトロールにより、犯罪の抑止力になっている。
- 見守り隊による児童の見守りは、児童への安心安全につながっている。
- 防犯等の旗の設置は、地域の安全への雰囲気を作っている

**【環境・景観分野の状況】 当初計画を破棄し、変更して取り組む**

項目	内容
分野名D	環境・景観分野
将来像	日本一住み良い町で上品な町並み景観を持つ街をつくる

基本方針D-1	豊かな自然と地勢を活用して、身の丈に合った町づくりを目指す
基本方針D-2	快適な生活環境に不可欠な諸要素(空気と水、日照権、公園確保、騒音防止)の確保
基本方針D-3	街並み品格を損なう屋外広告物などの規制徹底(景観条例・屋外広告物条例の規制強化)
基本方針D-4	知識習得や住民の啓蒙のための研修会開催
取り組み実績 や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境フォーラムへの参加      ・竹尾緑地の花植えや清掃活動</li> <li>・違反広告物の撤去活動      ・自然環境保護活動や勉強会や講習会の開催</li> <li>・住民の理解と活動参加者が徐々に減少・固定化している。</li> </ul>

**③地域づくり計画の成果**

- 撤去活動による違反広告物の激減
- 花植えや清掃活動によって地域の美化に役立った

### (3)市民アンケート調査の結果(集計結果は「別冊 P1～P15」)

#### アンケート結果の概要

【市民アンケート】

##### 【福間南地域の魅力について】

地域の魅力として、「公共交通機関が便利」「自然環境」「自然災害が少ない」「病院や商店が多い」といった順に回答が多くあります。

##### 【福間南地域の課題・問題点について】

「空き家対策」「高齢者・障がい者・独居家庭等の福祉対策」「災害に対する取り組み」「交通渋滞解消の取組み」といった順に回答が多くあります。

##### 【福間南地域の住みやすさについて】

「とても住みやすい」「どちらかと言えば住みやすい」を合わせると、回答者の 92%が住みやすさを実感しているようです。

##### 【10年後の南地域はどのような街になればよいか】

○子どもが健やかに成長できる街 162 ○その他 119 ○保健、医療、福祉の充実 114

##### 【福間南地域郷づくり事業への参加と認知度について】

南しょっとフェスタ・ウォーキング大会・グラウンドゴルフ大会・歌声喫茶・各種講演会・福祉交流会・子ども見守り活動・青パト防犯活動・子育てサロン・寺子屋・竹尾緑地整備・違反広告物撤去活動・落語&コンサート等の事業に対して、知っているは延べ1466人、参加したことがあるはわずか365人となっています。認知度を高め、参加を増やす対策・工夫が必要です。

##### 【災害に強い福間南地域にするための取り組みについて】

「正確な情報が伝わるように」「河川や排水路を整備する」「避難できない人の把握と誘導役を地区で決める」「防災マップを作成する」「避難場所を増やす」「避難所までの通路の確保」等といった順に回答が多くあります。

##### 【犯罪を未然に防ぐために、福間南地域ではどのような活動が必要か】

「不審者や犯罪の情報が速く伝わるようにする」「近所づきあいを密にし、声かけ運動を行う」「各家庭の門灯をつけて、夜道を明るくする」「空き家・空地・暗い公園等の危険個所の解消を図る」「見守り隊やパト吉乗務者の増員をし、見守り場所の拡大をする」

##### 【高齢者や生活弱者が安心して暮らすには福間南地域ではどのようなことに力を入れるべきか】

「独り暮らしや夫婦のみの高齢者を地域で見守る体制を充実する」「災害時(火事・地震等)に、安否確認や救護してくれる体制を充実する」「気軽に参加して交流できる行事等を増やす」「悩みや困りごとを地域で気軽に相談できる体制を充実する」「憩いの場を増やす」といった順に回答が多くあります。

##### 【子育てがよりしやすい福間南地域となるためには何が必要か】

「子どもが安全に外出できる環境(道路標識・標示)」「子育て中の親同士や大人との交流の場」「公園・遊び場」「子育てについての相談や支援が受けられる場」といった順に回答が多くあります。

##### 【郷づくりに求めることについて】

郷づくりに求めることとして、「交流ふれあい活動」「こどもの見守り活動」「スポーツや健康づくり活動」といった回答が多くなっています。

## (4) 今後の郷づくりの課題

### ①増加する高齢者のための継続的な支援が必要(→健康・福祉分野)

今後も高齢者が増加することが見込まれますので、高齢者が安心して暮らしていくことができる地域を目指し、単身高齢者への声かけや安否確認、外出支援など地域で見守り、支援していく継続的な体制づくりが求められています。

また、高齢者自身が、自分の健康は自分で維持・管理・増進していくというチャレンジ精神をもつことが大切です。ピン・ピン・キラリと生きることが健康長寿につながることから、高齢者が気軽に参加できる場と機会を設けることが必要です。

- 支援ボランティアをいかに多く募集するか
- 民生・児童委員との連携強化をどのように図るか
- 健康教室等のスタッフをいかにして集めるか

### ②住民が安全に安心して暮らせる地域づくりが必要(→防犯・防災分野)

交通安全、防犯、防災など、様々な視点で危険個所を把握、点検することで、住民が安全に安心して暮らすことができる地域づくりが求められています。そのためには、見守り隊や青パト乗務に多くの方の参加が必要です。

また、各自治会での自主防災組織の一日も早い組織化と郷づくりとしての組織の立ち上げが必須の課題です。さらに、日ごろからの防災訓練と近隣の方々との絆づくりが大切です。

- いつまでに、誰が核となって組織化するのか
- 支援ボランティアをいかに多く募集するか
- コミュニティゾーン(歩道の設置・歩車道の区別・ゾーン 30・信号)の調査と設置要望

### ③地域の子どもは地域で見守り・育てる地域づくりが必要(→子育て・青少年育成分野)

住み良いまちとしては、全国で 11 位(東洋経済新報社 2018 年 6 月公表による)にランクされていますが、急激な人口増により、待機児童の増加、小中学校のマンモス化で保護者の心配が増えています。このような状況で、郷づくりとしては少しでも保護者の不安を軽減し、子どもたちの健全育成のためにできることを模索し、ニーズに応じていかなければなりません。

- 子育てサロンや寺子屋をさらに充実させるためにスタッフの増員をどう図るか
- 子どもの健全育成を図るために、小中学校・各機関等との連携をいかに進めたらよいか

### ④住民が住み良い・住み続けたいと思う環境・景観づくりが必要(→環境・景観分野)

南地域で豊かな自然として考えられるのは、竹尾緑地と上西郷川です。この二か所を南地域の宝として、保全・美化活動を行い、住民の憩いの場・交流の場となるように住民が一丸となって取り組んでいくことが肝要です。また、違反広告物や犬の糞等街の景観を損なう行為を徹底して防ぐことも大切です。さらに、街中(特に、竹尾緑地・上西郷川流域)に花が咲き誇り心が癒される街づくりが望まれます。

- 保全・美化活動のボランティアをいかに多く集めるか
- 竹尾緑地を住民に周知し、いかに活用を図るか
- 景観を損なう行為に対する対策をいかにたてるか

### 3. 将来像

地域の現況と課題から、本地域が目指す将来像は、以下の通りです。

#### 将来像

住みたい 住みよい 住みつづけたい 福間南

～皆で創ろう！「ひと」も「地域(まち)」も輝く郷～

まちには子ども達の元気な声が響き渡り

四季の花が咲き誇り

高齢者にも生活弱者にも優しく手を差し伸べ

笑顔で挨拶を交わし

絆を深め

生き活きと楽しく活動し

地域の課題は皆で相談し 解決策を話し合い

安心して

誇りをもって

いつまでも暮らしたい

活気ある郷づくりを目指します

## 4. 活動分野・基本方針

将来像の実現に向けて、本地域では活動分野及び分野ごとの基本方針を以下の通り設定します。

分野名	基本方針
健康・福祉	基本方針1： みんなで支え合う環境づくり 基本方針2： 健康で生き生きふれあいづくり
防犯・防災	基本方針1： 安全で安心して暮らせる地域づくり 基本方針2： 防災の意識づくり
子育て・ 青少年育成	基本方針1： 地域の子どもは地域で見守り育てる 基本方針2： 青少年の健全育成
環境・景観	基本方針1： 景観の良い地域づくり 基本方針2： 水辺と緑の美しい地域づくり
スポーツ・文化	基本方針1： 誰もがいつでも楽しく気軽に参加でき、健康増進と交流を図る

## 5. 取り組む主な活動

### ① 健康・福祉分野 ◆温もりのある郷

基本方針1： みんなで支え合う環境づくり

※★は重点活動

今後の活動	新規・継続	具体的活動
★高齢者の外出支援	新規	高齢者への車による買い物支援
支援ボランティアの増員を図る	継続	広報活動の充実
★高齢者の見守り活動	継続	業者との連携を図りながら見守り活動

基本方針2： 健康で生き生きふれあいづくり

※★は重点活動

今後の活動	新規・継続	具体的活動
グラウンドゴルフの輪を広げる	継続	自治会対抗・月例開催を行い健康維持と交流を図る
★健康教室の開催	新規	交流センターで健康体操等の開催

### ② 防犯・防災分野 ◆安全・安心の郷

基本方針1： 安全で安心して暮らせる地域づくり

※★は重点活動

今後の活動	新規・継続	具体的活動
★児童の見守り活動	継続	小学生の登下校時の見守りの充実
★青パトによる地域巡回	継続	青パトによる下校時・夜間の巡回の充実
防犯・交通危険個所の点検	新規	各自治会で危険個所の点検を行い、市に申請

基本方針2： 防災の意識づくり

※★は重点活動

今後の活動	新規・継続	具体的活動
防災訓練の強化	継続	南地域共通訓練計画を作成し、防災訓練の実施
★防災に関する研修会	継続	各種研修会の参加、ハザードマップ等の啓発

### ③ 子育て・青少年育成分野 ◆優しい郷

基本方針1： 地域の子どもは地域で見守り育てる

※★は重点活動

今後の活動	新規・継続	具体的活動
★未就学児とその親同士の交流	継続	公民館や交流センターで行っている子育てサロンの輪を広げる
★寺子屋活動	継続	南小の高学年を対象とした学習支援の充実
親子料理教室	継続	親子のふれあいと食育の推進



基本方針 2： 青少年の健全育成

※★は重点活動

今後の活動	新規・継続	具体的活動
★あいさつ運動の推進	継続	ポスターの作成・標語等の募集
子ども郷づくり	継続	小中学校の行事への積極的な参加

④ 環境・景観分野

◆安らぎの郷

基本方針 1： 景観の良い地域づくり

※★は重点活動

今後の活動	新規・継続	具体的活動
★上品で住み良い街並みづくり	継続	違反広告物の撤去や清掃活動等
公衆道徳の向上を図る (犬の糞・ごみのポイ捨て)	新規	看板の設置や広報活動

基本方針 2： 水辺と緑の美しい地域づくり

※★は重点活動

今後の活動	新規・継続	具体的活動
★河川や丘陵地の整備活動	継続	西郷川と上西郷川の親水ゾーンの美化活動等
竹尾緑地・上西郷川等の花いっぱい運動の推進	新規	広場や流域に桜・つつじ・紫陽花等の植樹や花の植栽

⑤ その他の分野(スポーツ・文化)

◆スポーツ・文化の郷

基本方針：誰もがいつでも楽しく気軽に参加でき、健康増進と交流を図る。 ※★は重点活動

今後の活動	新規・継続	具体的活動
★三大イベント(南しょっとフェスタ・ウォーキング大会・自治会対抗グラウンドゴルフ大会)への参加者の増大を図る。	継続	郷づくり推奨のウォーキングコースを利用したウォーキングの日常化
歌声喫茶「南しょっと」・南しょっとGGクラブ・落語&コンサートへの参加者の増大を図る。	継続	情宣活動の充実・ロコミの徹底・各自治会での取り組みの強化・駐車場の確保・イベント内容の充実等
★スポーツ行事を新設し、交流や健康増進の機会を増やす *スポーツ活動の盛んな郷づくり(スポーツの郷)⇒南地域の特色づくり	新規	スタッフの募集⇒企画・立案・実施(同好会組織・自治会対抗・任意参加等) (例)ゴルフ大会・ボーリング大会・ニュースポーツ大会(アジャタボール・スカットボール・輪投げ・ペタンク・ディスクッター等)・健康教室の開催⇒月1回程度
★文化行事を新設し、交流や発表(生涯学習)の機会を増やす *文化活動の盛んな郷づくり(文化の郷)⇒南地域の特色づくり	新規	文化展の開催(生け花・書道・手芸・絵画・絵手紙・写真・陶芸等々)

## 参考

### (1) 検討の経緯

#### 評価・検証会議

回	開催日	主な内容
第1回	平成30年7月1日	過去10年間余りの活動の振り返りを行った。 各部の現状の問題点を整理した。

#### 市民アンケート

対象地域	実施期間	主な内容
南地域全体 (福間南小校区)	平成30年9月27日～ 平成30年10月20日	福間南郷づくり事業や行事に対する認知度。 南地域の良さや将来像について。 住みやすさ、防犯防災、子育て、高齢者に対する 課題や意見を調査した。

#### 策定会議

回	開催日	主な内容
第1回	平成30年6月3日	会議予定日決定、予算使途、資料説明、 次回までに作成する資料、作成者の振り分け。
第2回	平成30年7月1日	過去10年余りの活動の振り返り、各部の現状の問題 点の整理、市民アンケート実施と実施日決定、 次回までの課題。
第3回	平成30年8月5日	郷づくりの将来像について協議した。 アンケートについては、たたき台を基に質問ごとに修 正等をし、配布数や配布対象者を決めた。
第4回	平成30年9月2日	先月見直しをしたアンケートを再確認し最終版を完 成。また配布数について、自治会と役員へ配布するこ とを決定。
第5回	平成30年10月14日	アンケート集計方法と郷づくり計画のひな型 P8 の今 後の郷づくりの課題について検討した。
第6回	平成30年11月11日	アンケート集計結果について設問ごとに見直しをし、 行政、郷づくり、自治会のどこで対応すべきなのか区 分けする必要がある。また、設問毎に意見をまとめる 作業後、次回会議資料とする。
第7回	平成30年12月2日	アンケート結果から課題として、郷づくりの認知度を あげる努力が必要。思案を出し合った。 また、将来像を決定した。
第8回	平成31年1月6日	郷づくり計画の(4) 今後の郷づくりの課題について分 野ごとに問題点、課題、施策(取組)をあげた。

第9回	平成31年1月27日	将来像の補足説明について検討し決定した。 また、福祉、防犯分野の今後の取組活動について検討した。
第10回	平成31年2月3日	子育て、環境分野の今後の取組活動について検討した。
第11回	平成31年3月3日	(4)今後の郷づくりの課題について分野ごとに検討した。また、アンケート結果をグラフにしものを確認した。さらに、これまで検討した内容の付加・修正を行い、冊子としてまとめることにした。
第12回	平成31年3月17日	冊子の最終確認・発行部数・配布先等の協議

## (2)検討体制

氏名	役職等
原 秀俊	郷づくり会長
川原 睦夫	副会長
石橋 和義	副会長
芳賀 和明	会計
樋口 利隆	日蒔野1区前自治会長
辻井 秀之	日蒔野2区前自治会長
瀬戸崎 浩	日蒔野5区前自治会長
池田 典彦	郷づくり事務局長
古里 美津子	郷づくり事務局員
溝辺 秀成	市職員

## (3)地域住民アンケート実施概要

### ①地域住民アンケートの実施概要

[調査の対象]

地区別回答者数			年齢層							未回答	総計
地区	人数		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代			
四角区	15名	5%		3	2			10		15	
両谷区	24名	9%		4	9	1	7	2		23	
原町(1~3区)	75名	27%	1	8	12	10	23	22		76	
有弥の里(1~2区)	23名	8%			5	7	7	4		23	
光陽台(1~3区・南区)	46名	16%		3	4	5	12	22		46	
日蒔野(1~6区)	99名	35%	1	47	36	6	3	4	2	99	
<b>総計</b>	<b>282名</b>	<b>100%</b>	<b>2</b>	<b>65</b>	<b>68</b>	<b>29</b>	<b>52</b>	<b>64</b>	<b>2</b>	<b>282</b>	
			1%	23%	24%	10%	18%	23%	1%	100%	

### [調査の方法]

- ・市民アンケートを実施。

統計的に有意な結果を出すためのサンプル数を計算し、17自治会の世帯数別には配布数を決め、さらに男女比は半々、65歳以上への配布数を決めアンケートを実施した。

アンケート調査のお願いを9/27役員会にて主旨等を説明し17自治会長に配布し、各自治会長の判断で対象者を決定し配布回収を行い、10/20までに事務局まで提出してもらった。

### [調査の期間]

- ・調査期間：平成30年9月27日（木）～平成30年10月20日（土）

### [調査結果]

配布数	回収数	回収率
350件	282件	81%



計画策定会議



福間南郷づくり交流センター(通称「南しょっとセンター」)



登下校の見守り活動  
(防犯・防災部会)



竹尾緑地に咲き誇るひまわり  
(環境・景観部会)



寺子屋  
(子育て・青少年育成部会)



健康づくり講演会  
(健康・福祉部会)





2019年3月

福岡南地域郷づくり推進協議会

〒811-3209 福岡県福津市日蒔野4丁目1の19

電話：FAX：72-5138

URL <http://wagamachi.city.fukutsu.lg.jp>

E-mail [sato-minami@bc.wakwak.com](mailto:sato-minami@bc.wakwak.com)